



われ また 吾も亦 紅なりと
 ひそやかに (高浜虚子)

暦の10月。神無月は、八百
 万の神々が出雲大社に集まり、
 諸国の神が留守になるため、
 このように呼ぶそうです。逆
 に、神々が集う出雲の国だけ
 は、神在月となるそうです。

出雲に集まった神々は、縁
 結びの相談をするらしく、ゆ
 えに、出雲大社が縁結びのパ
 ワースポットとして、多くの
 若者が訪れています。

秋が深まり、空は澄み、風
 爽やかで過ごしやすい季節。
 しかし、夏の華やかな季節が
 過ぎ去る寂しさはぬぐえませ
 ん。そんなときに吹く風があ
 ります。「色なき風」です。休
 日、秋晴れに誘われ山歩きに
 出掛けました。林間を歩きな
 がら、「色なき風」にしばしま
 どろみました。

「吾亦紅」。ひっそりと目立
 たず、紅をまとった、どこか
 寂しげな晩秋の花は、上の花
 から紅くなり、上が枯れたこ
 ろに下の花が紅くなるという
 普通の花とは逆の咲き方をし
 ます。この「吾亦紅」を曲名



吾亦紅の花

にした歌があります。中年の
 男性が亡き母をしのび、不遇
 な身の上を墓前に告げる歌で
 す。浮世の冷たい風が身に染
 みる年ごろになって、故郷に
 ひとり暮らして逝った母の、
 決して語らなかつた悲しみが
 ようやく分かり、「ばか野郎と
 なじつてくれよ」と歌います。

親の思い子知らず。親が子
 を思う情はいつの世にも、「永
 遠の片思い」であるといいま
 す。片思いの実相が分かるこ
 ろに親はいない。墓前にたた
 ずめば人は誰もが、「ばか野郎」
 と親に怒られたい、そんな時
 もあるのでしょうか。

「髪に白髪が混じり始めて
 も 俺 死ぬまであなたの子
 ども」と、詩は続きます。

指宿市長 豊留 悦男